



2014年10月期 第2四半期決算説明資料

2014年6月12日(木)
株式会社オハラ(証券コード:5218)

- ◆ 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ◆ ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。
- ◆ この資料の著作権は株式会社オハラに帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

◆ 2014年10月期 上期決算の概況 P03～09

◆ 2014年10月期 通期業績見通し P10～18



2014年10月期 上期決算の概況

<事業環境>

- ◆ デジカメ市場は、コンパクト縮小、レンズ交換式も低調に推移
- ◆ 露光装置市場は、半導体、液晶向けともに需要は堅調

<当社業績>

- ◆ 光学ガラスは、デジカメ向け需要減少により数量減
- ◆ 特殊ガラスは、宇宙・天文向け極低膨張ガラスセラミックスが好調
- ◆ 石英ガラスは、プロジェクター向け販売減少

<管理体制の変更>

- ◆ 子会社決算期の統一に伴い、子会社の9-10月業績を1Qに取り込み
- ◆ セグメント損益の測定方法変更(過年度セグメント損益を遡及修正)

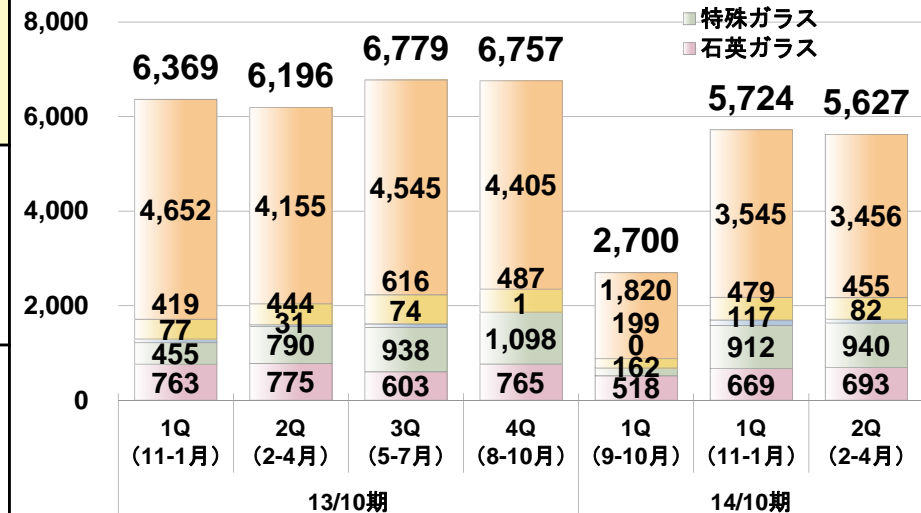
業績サマリー

(単位: 百万円、%)

	13/10期 上期 (11-4月) ①	14/10期 1Q (9-10月) ②	14/10期 上期 (11-4月) ③	増減 (③対①)
売上高	12,566	2,700	11,352	△1,214 △9.7%
営業利益	△717	211	142	860
[営業利益率]	—	7.8%	1.3%	—
経常利益	386	343	343	△42
[経常利益率]	3.1%	12.7%	3.0%	△11.1%
純利益	412	38	95	△317
[純利益率]	3.3%	1.4%	0.8%	△76.9%
為替レート 円/1USD 円/1EUR	期中平均 89.93 117.79	期中平均 101.40 138.26		

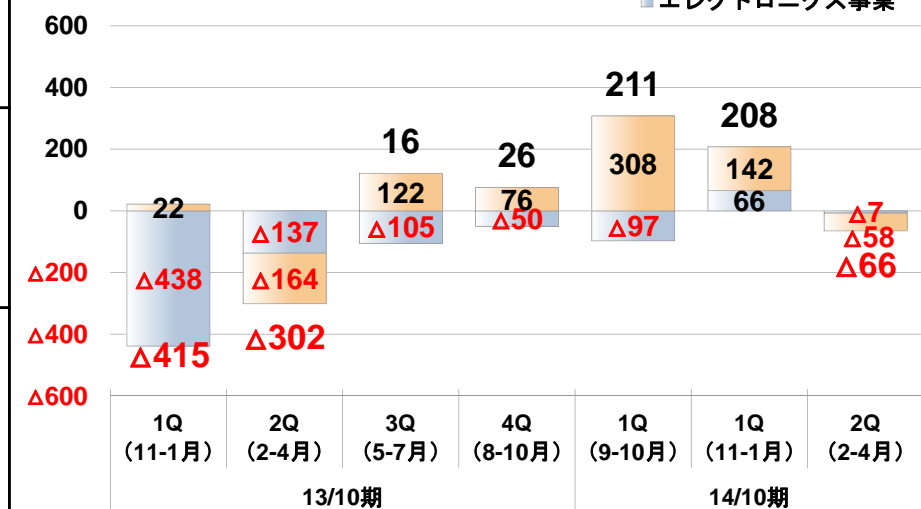
<売上高四半期推移>

(単位: 百万円)



<営業利益四半期推移>

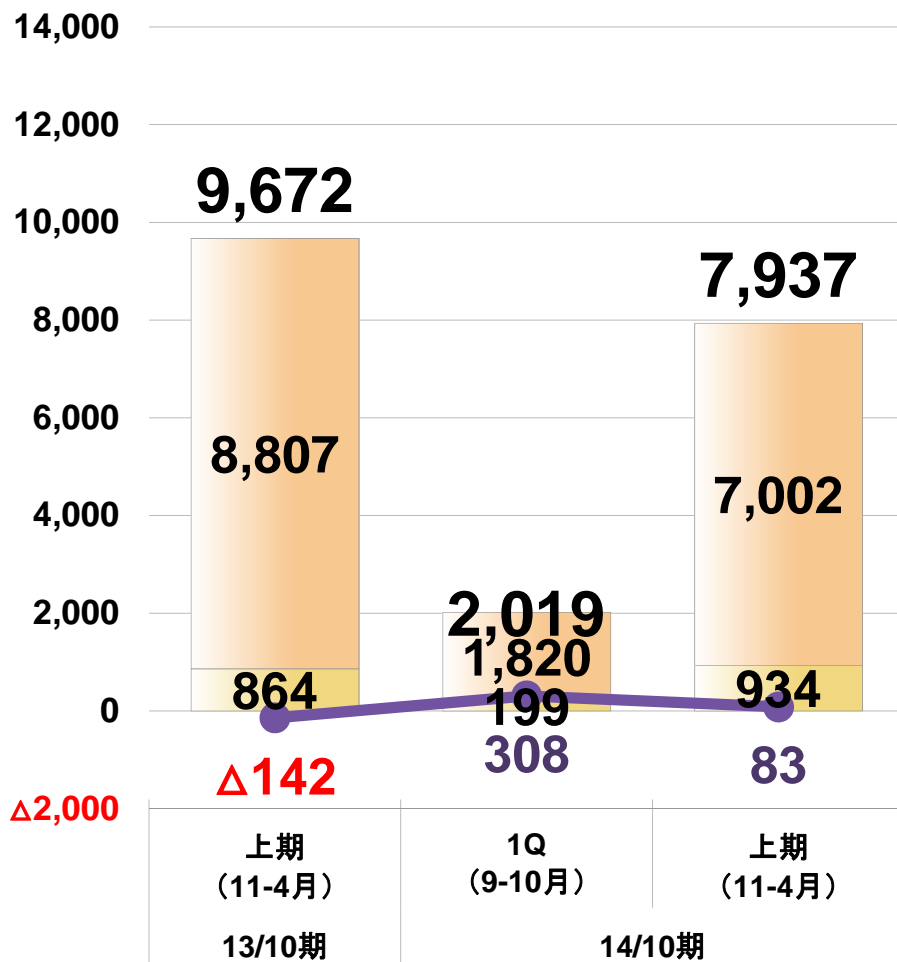
(単位: 百万円)



<上期対比>

(単位:百万円)

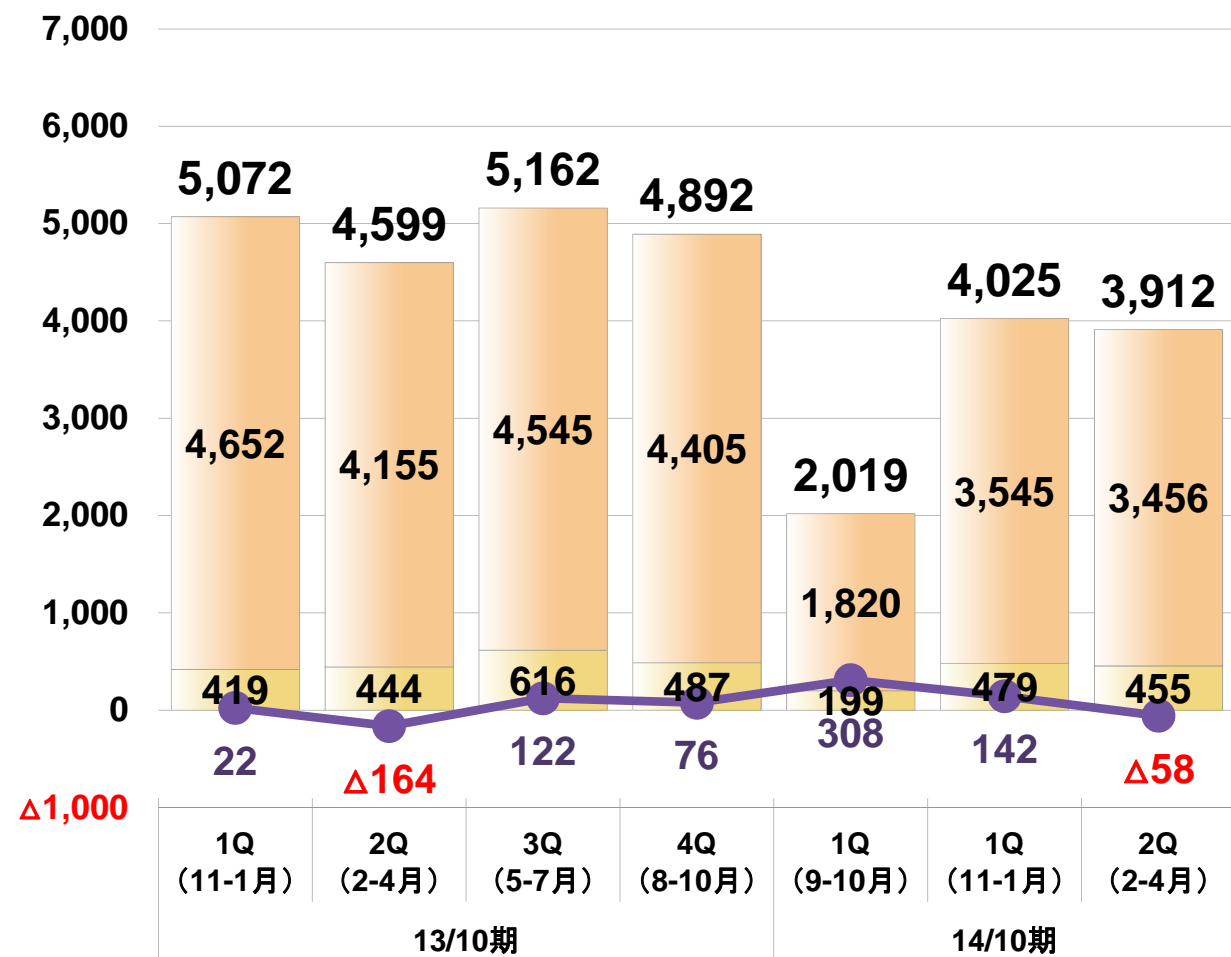
- 光学プレス品売上高
- 光学ブロック品売上高
- 営業利益



<四半期推移>

(単位:百万円)

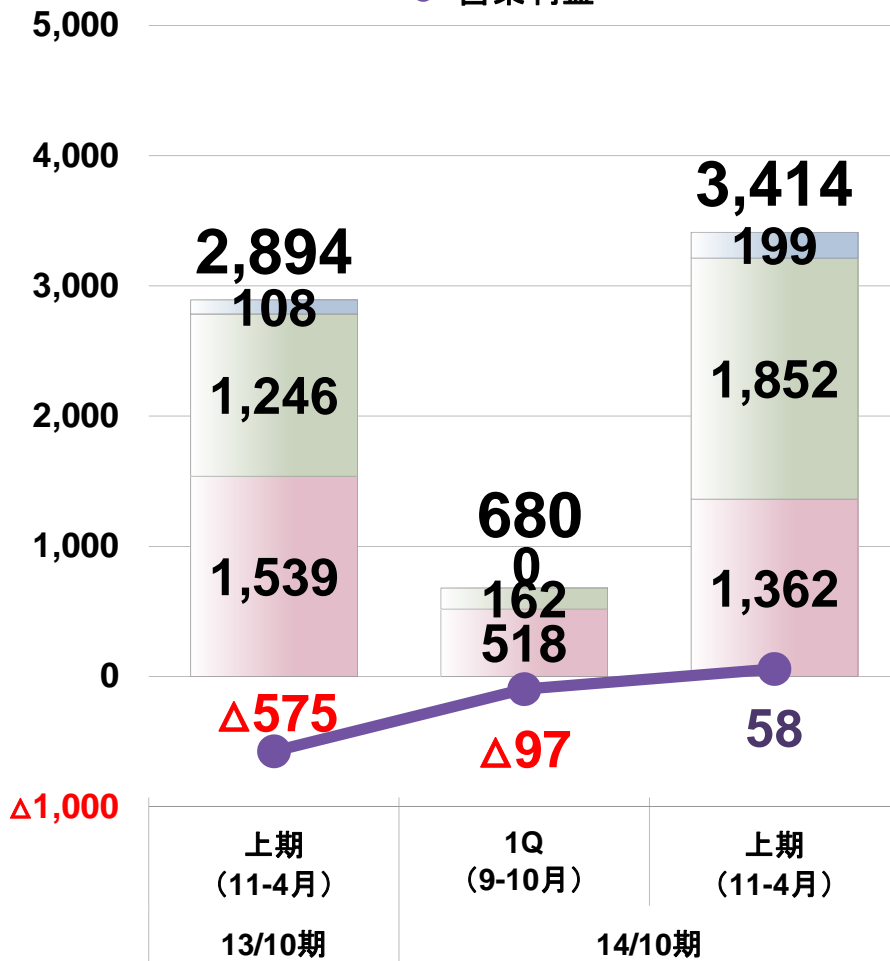
- 光学プレス品売上高
- 光学ブロック品売上高
- 営業利益



<上期対比>

(単位:百万円)

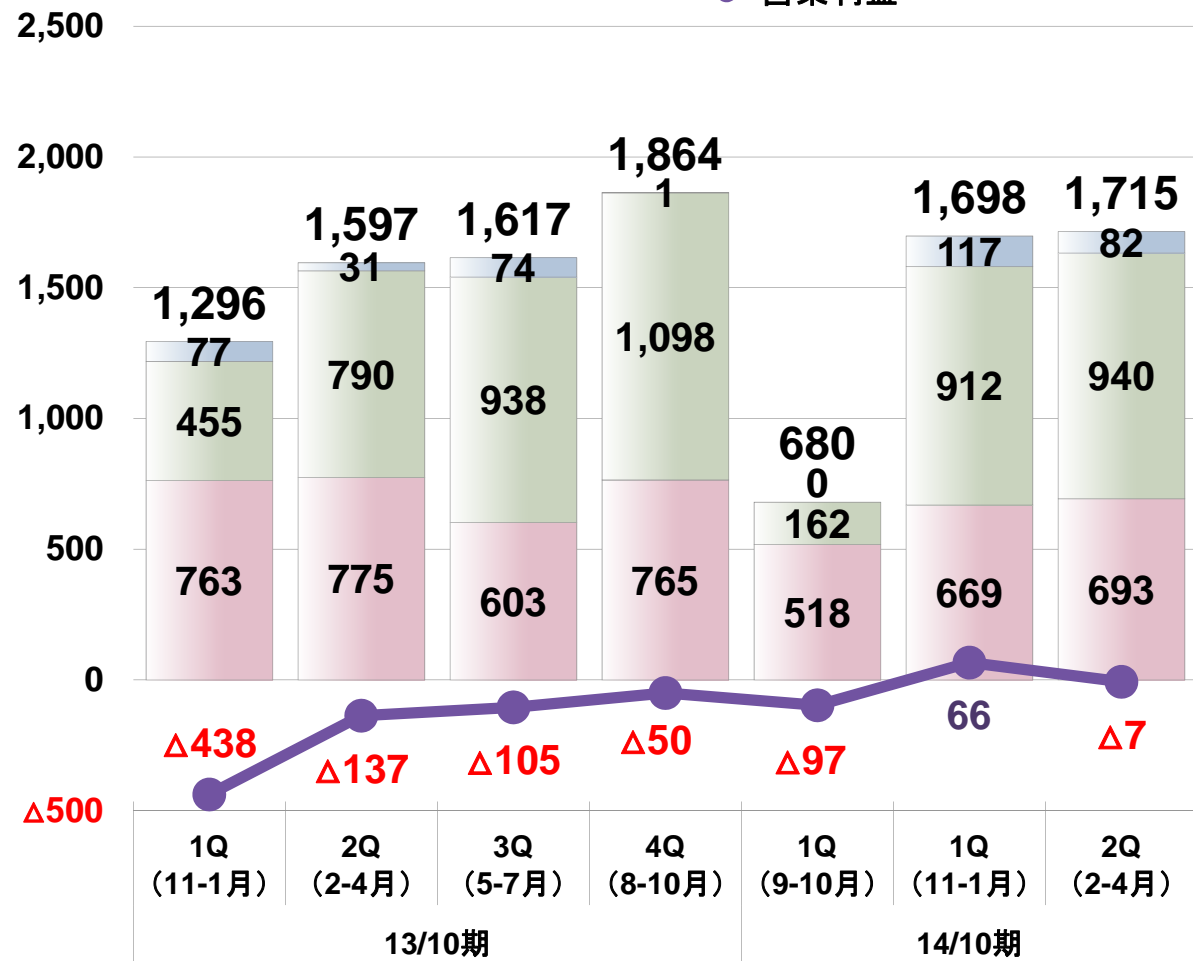
- HD用ガラス基板材売上高
- 特殊ガラス売上高
- 石英ガラス売上高
- 営業利益



<四半期推移>

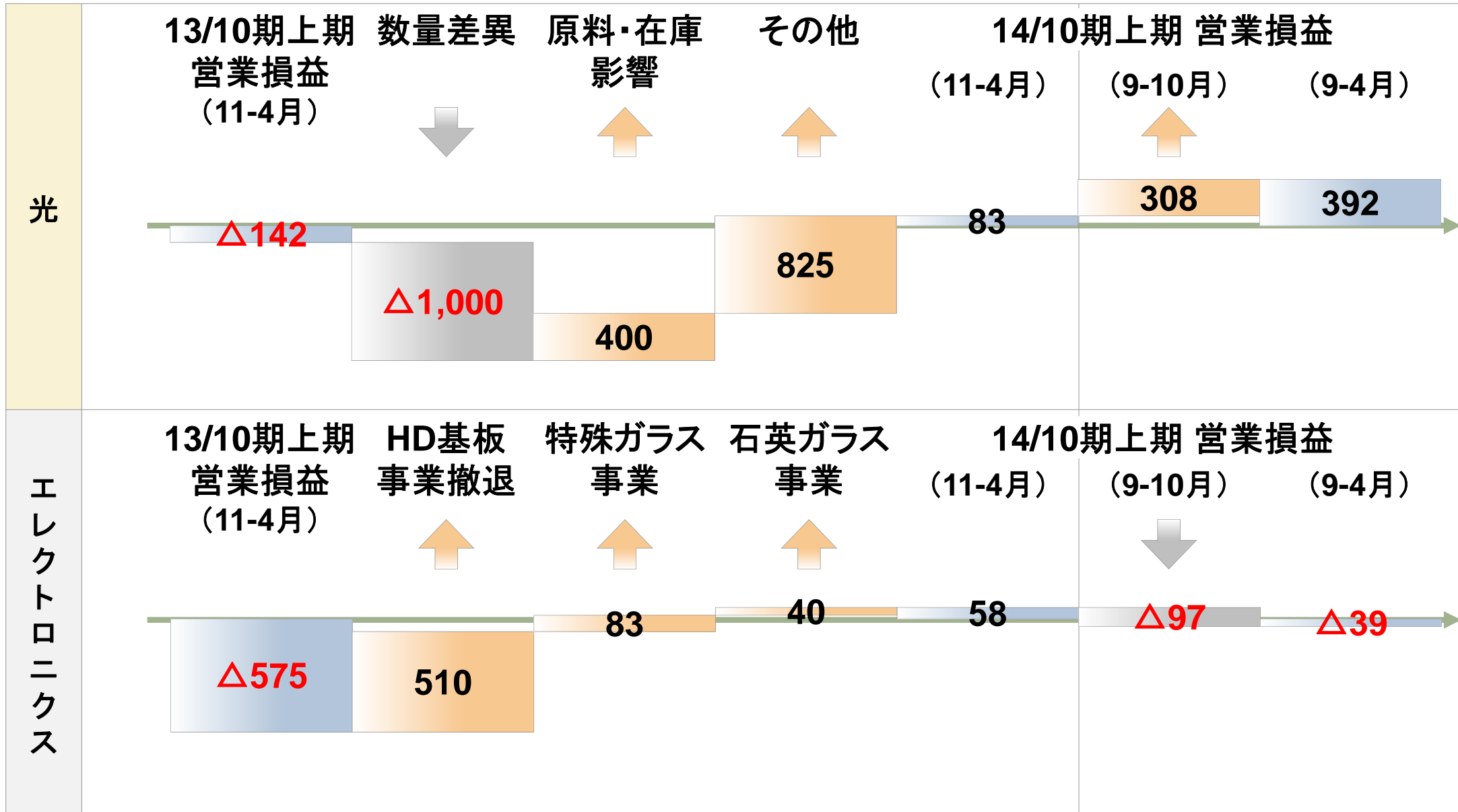
(単位:百万円)

- HD用ガラス基板材売上高
- 特殊ガラス売上高
- 石英ガラス売上高
- 営業利益



営業損益増減要因

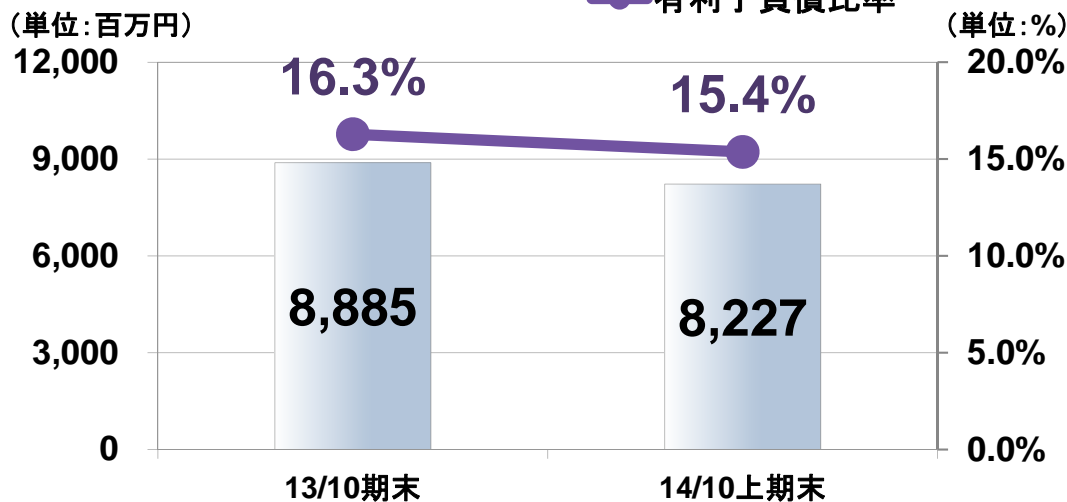
(単位:百万円)



キャッシュ・フロー



<有利子負債>



(単位:百万円)

営業CF増減主要因

税金等調整前純利益	666
減価償却費	942
売上債権の増減額	1,183
たな卸資産の増減額	972
仕入債務の増減額	△773

投資CF増減主要因

固定資産の取得	△896
固定資産の売却	511

財務CF増減主要因

借入金の返済	△672
配当金	△242



2014年10月期 通期業績見通し

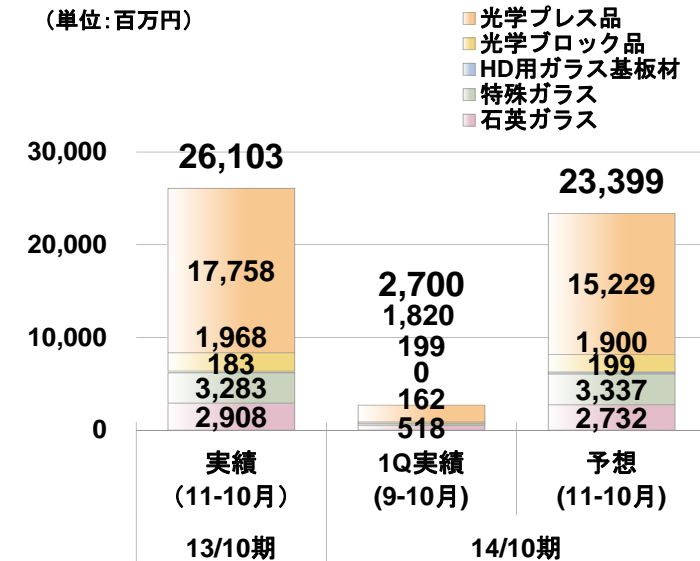
見通しサマリー

(単位:百万円、%)

	13/10期 通期実績 (11-10月) ①	14/10期 1Q実績 (9-10月) ②	14/10期 通期予想 (11-10月) ③	増減 (③対①)	14/10期 通期予想 (②+③)
売上高	26,103	2,700	23,399	△2,703 △10.4%	26,100
営業利益	△674	211	378	1,053	590
[営業利益率]	△2.6%	7.8%	1.6%	—	2.3%
経常利益	765	343	566	△198	910
[経常利益率]	2.9%	12.7%	2.4%	△26.0%	3.5%
純利益	△4,005	38	371	4,376	410
[純利益率]	△15.3%	1.4%	1.6%	—	1.6%
為替レート 円/1USD 円/1EUR	期中平均 94.40 124.42				期中平均 102.00 140.00

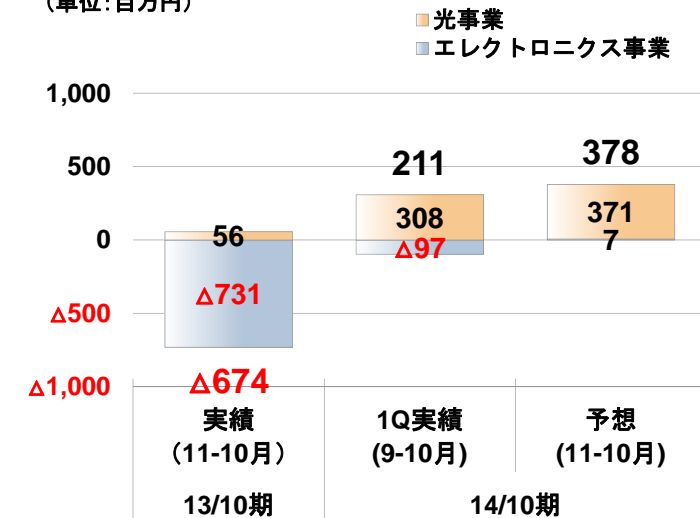
<通期売上高内訳>

(単位:百万円)



<通期営業利益内訳>

(単位:百万円)



光事業見通しのポイント

<事業環境>

- ◆ レンズ交換式デジタルカメラ市場は、前年比横ばい
- ◆ コンパクトデジタルカメラ市場は、縮小が続く

<当社状況>

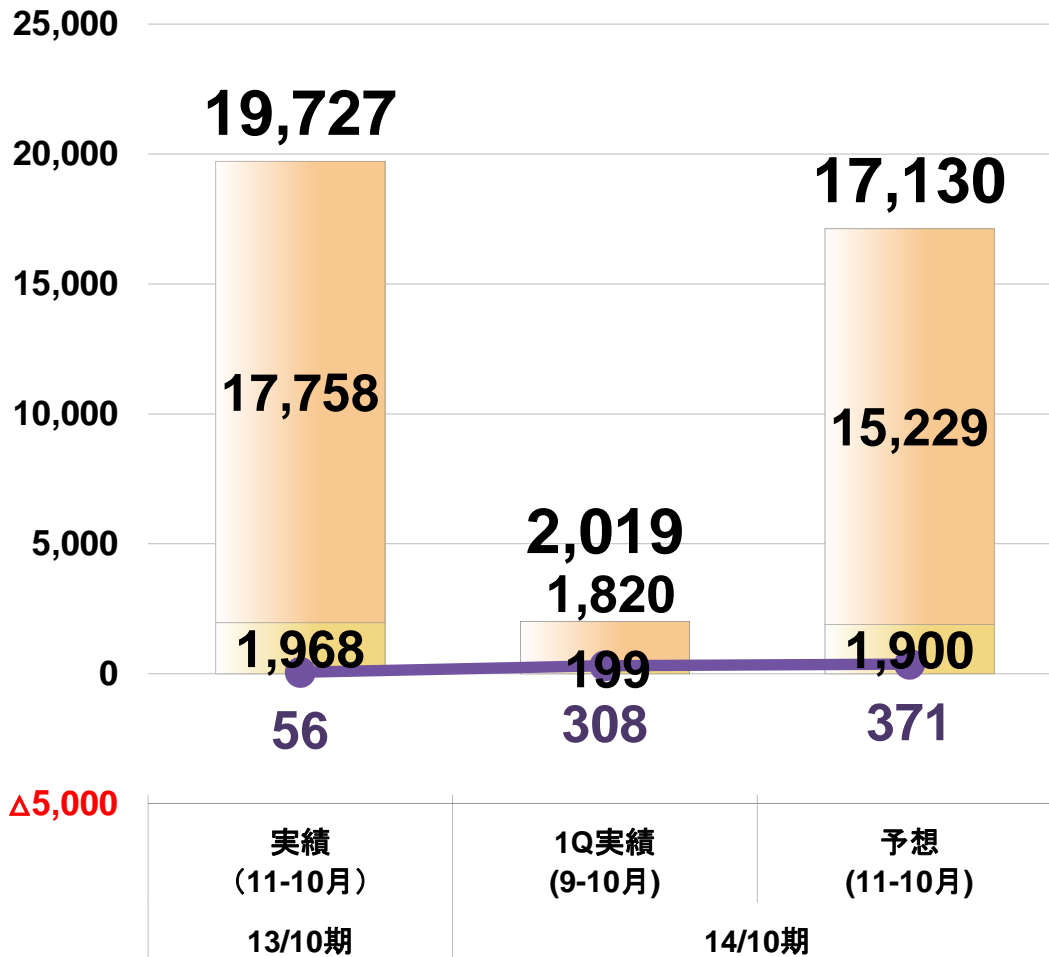
- ◆ 光学ガラスは下期から徐々に需要回復
- ◆ 損益は生産稼働率の上昇と固定費削減で改善

光事業見通し

<通期対比>

(単位:百万円)

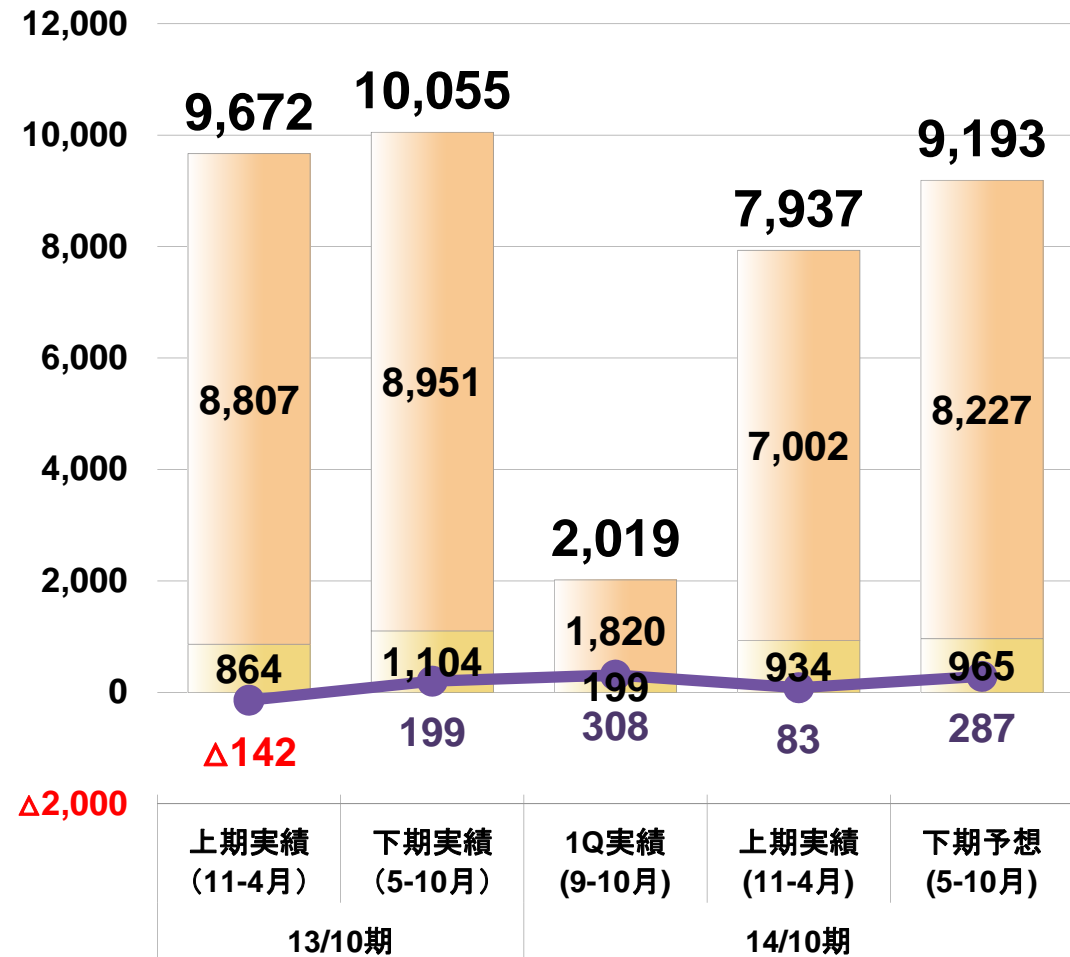
■ 光学プレス品売上高
■ 光学ブロック品売上高
● 営業利益



<半期対比>

(単位:百万円)

■ 光学プレス品売上高
■ 光学ブロック品売上高
● 営業利益



<事業環境>

- ◆ 半導体、液晶関連市場は、露光装置、フォトマスクともに需要は伸長
- ◆ プロジェクター市場は、台数増も低価格化傾向

<当社状況>

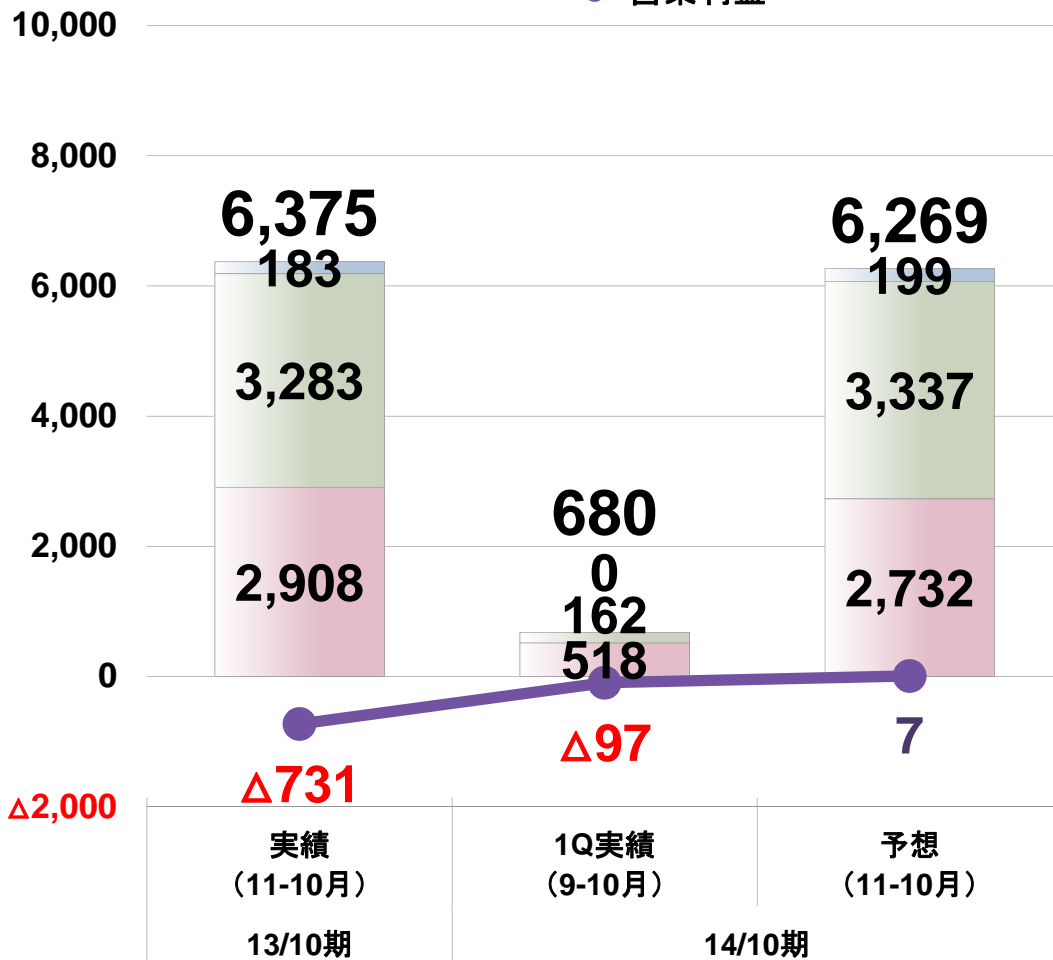
- ◆ 特殊ガラスは、宇宙・天文用途向けの納入時期変更等で、下期伸び悩み
- ◆ 石英ガラスは、フォトマスク用素材の需要増加

エレクトロニクス事業見通し

<通期対比>

(単位:百万円)

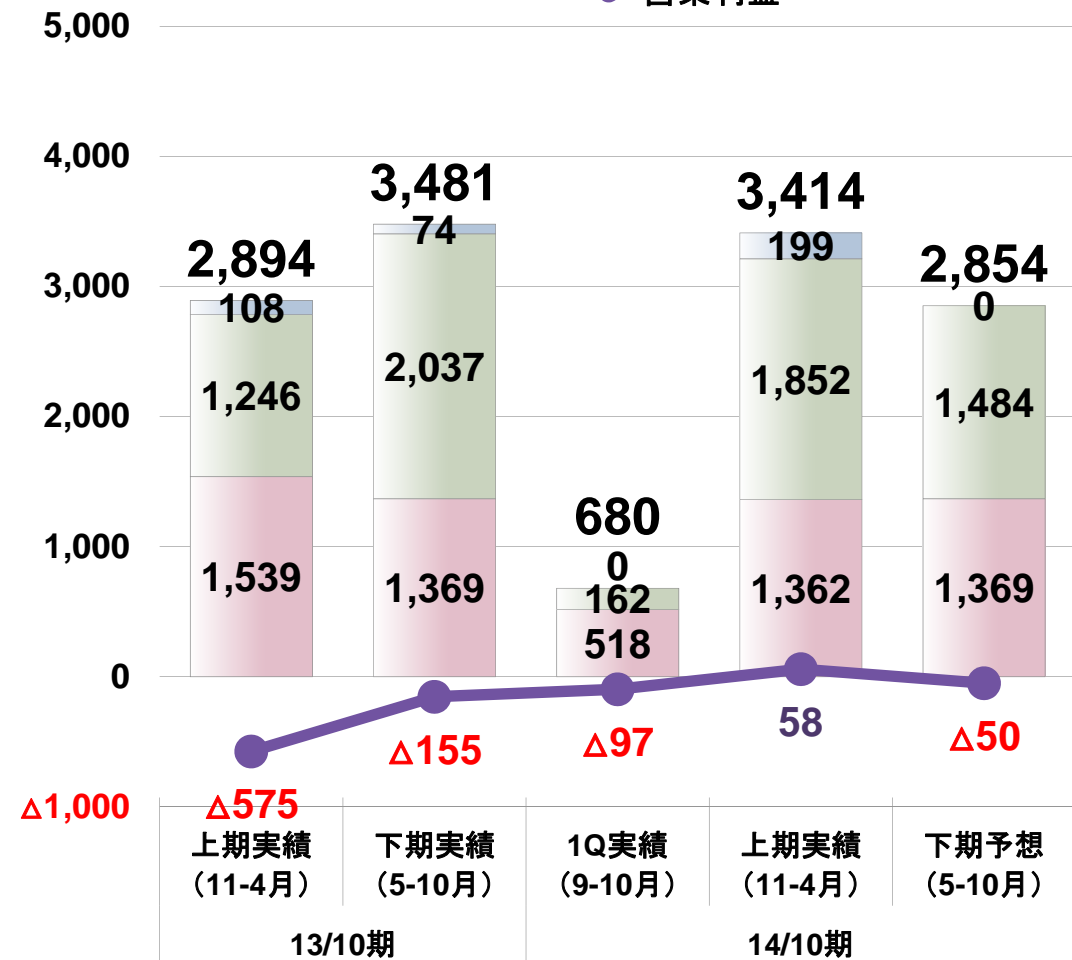
- HD用ガラス基板材売上高
- 特殊ガラス売上高
- 石英ガラス売上高
- 営業利益



<半期対比>

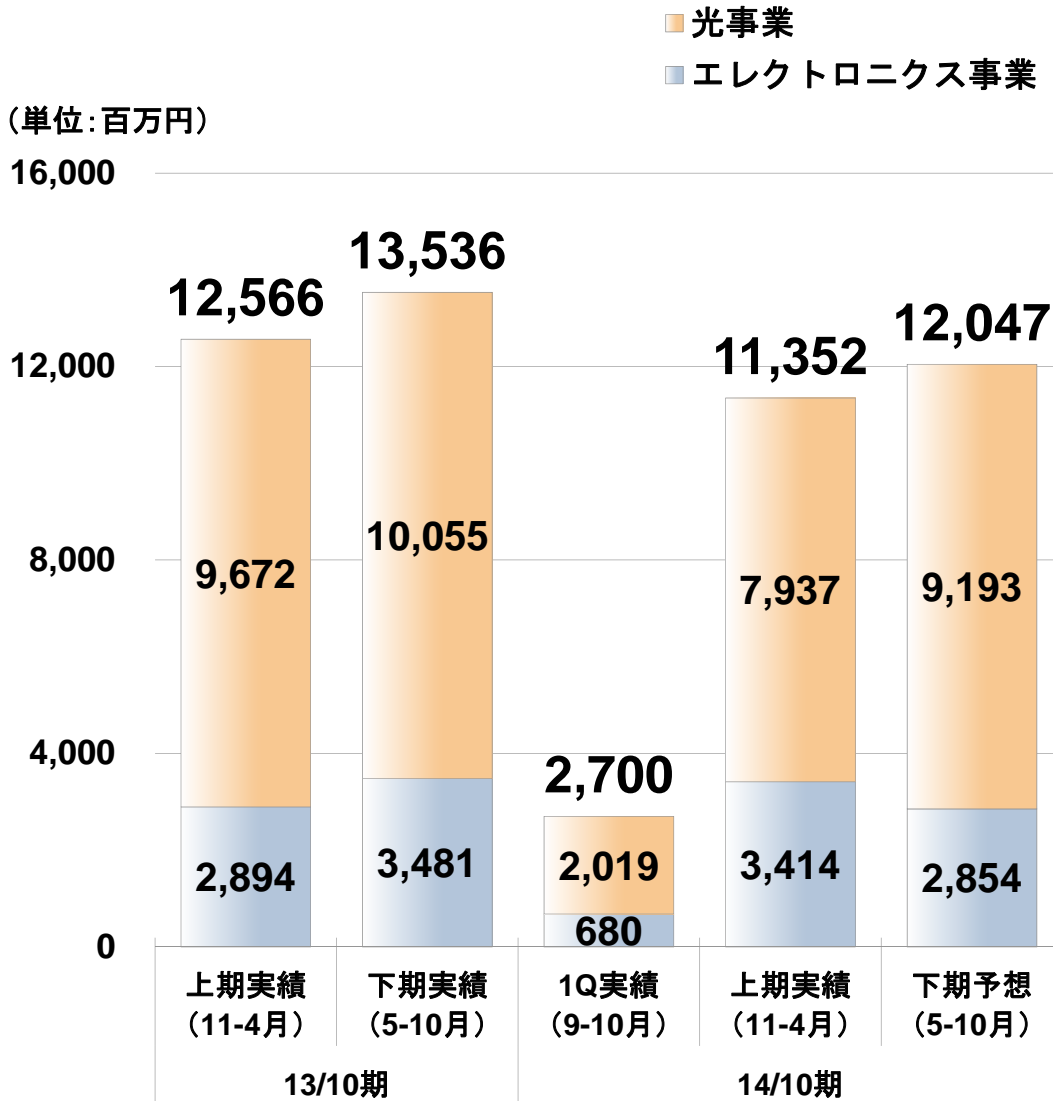
(単位:百万円)

- HD用ガラス基板材売上高
- 特殊ガラス売上高
- 石英ガラス売上高
- 営業利益

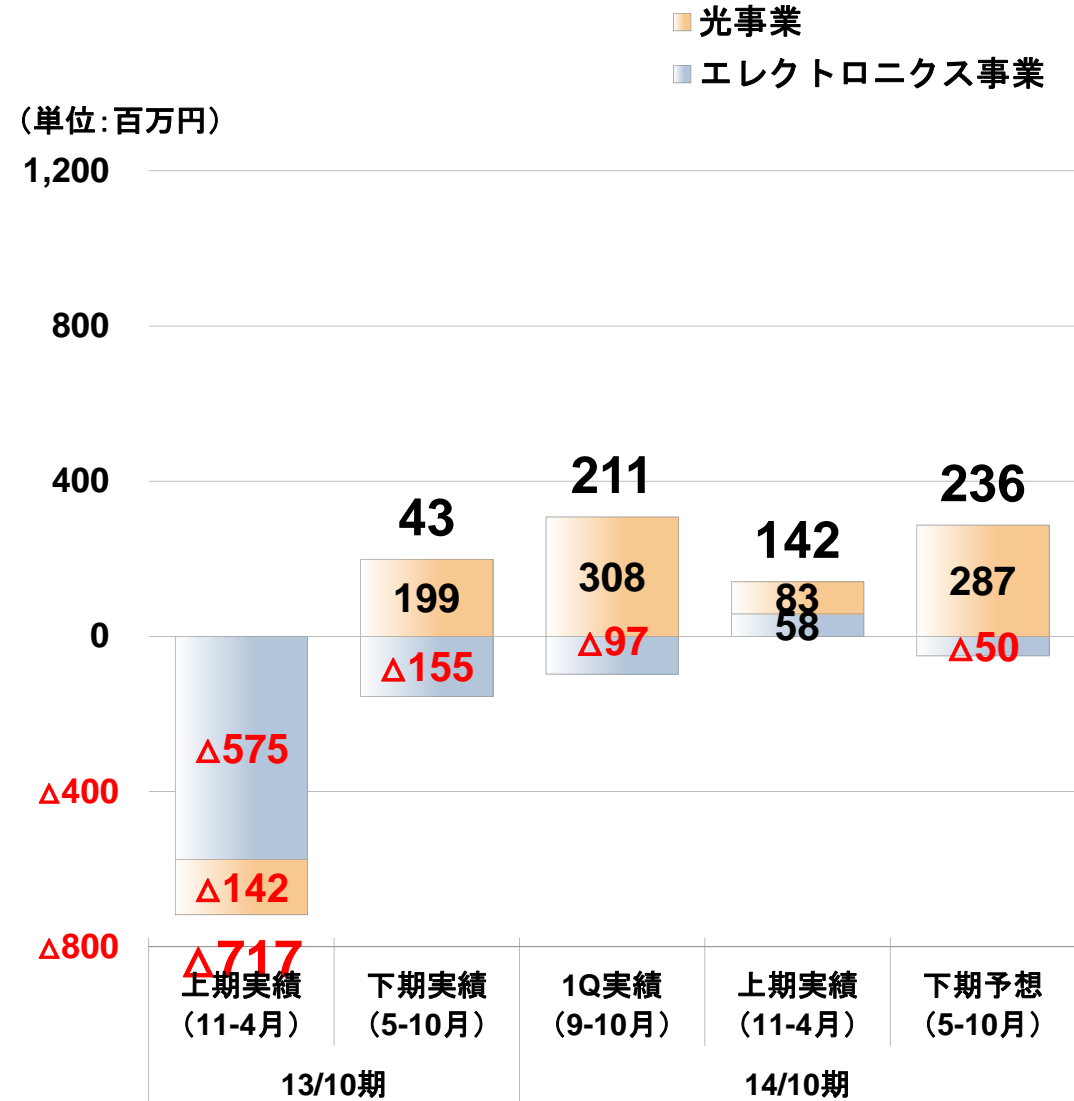


見通し数値まとめ

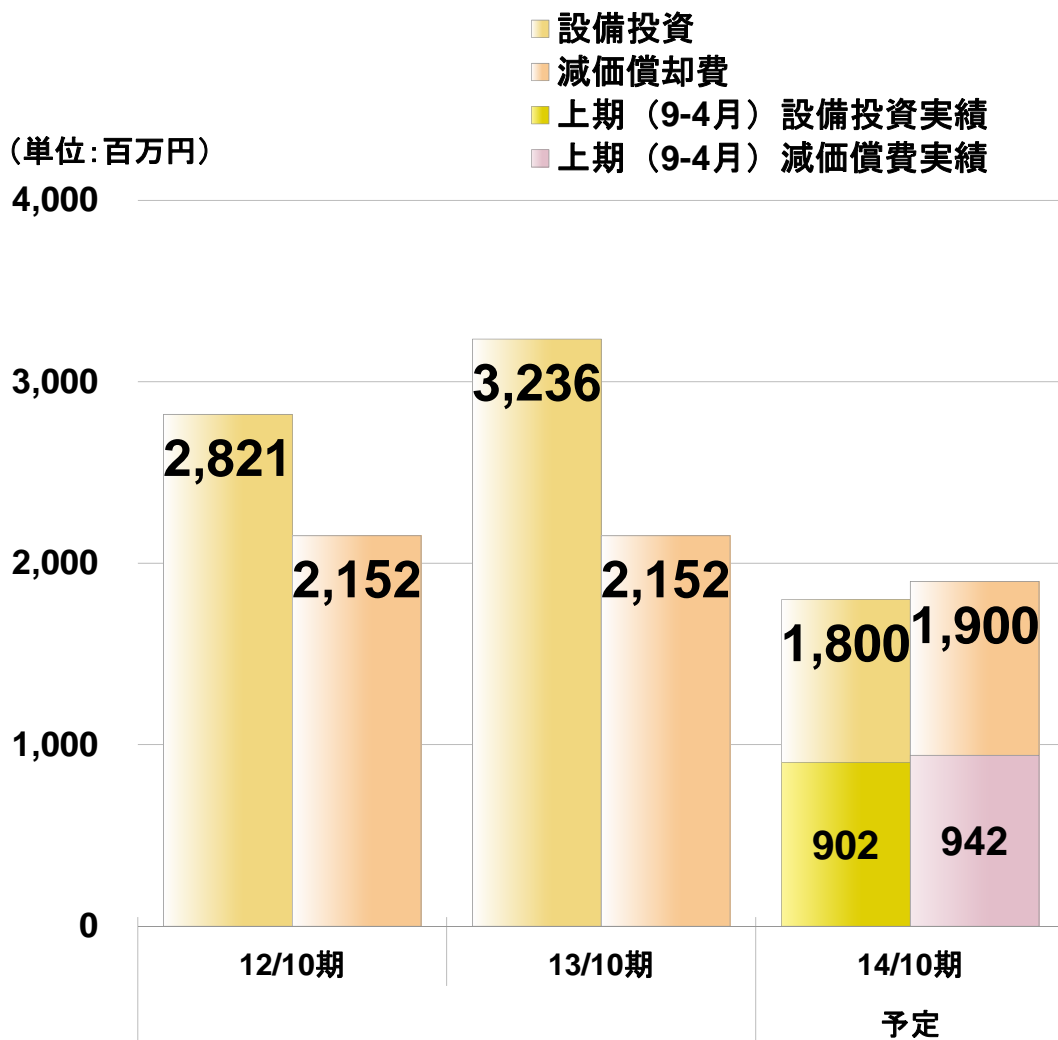
売上高



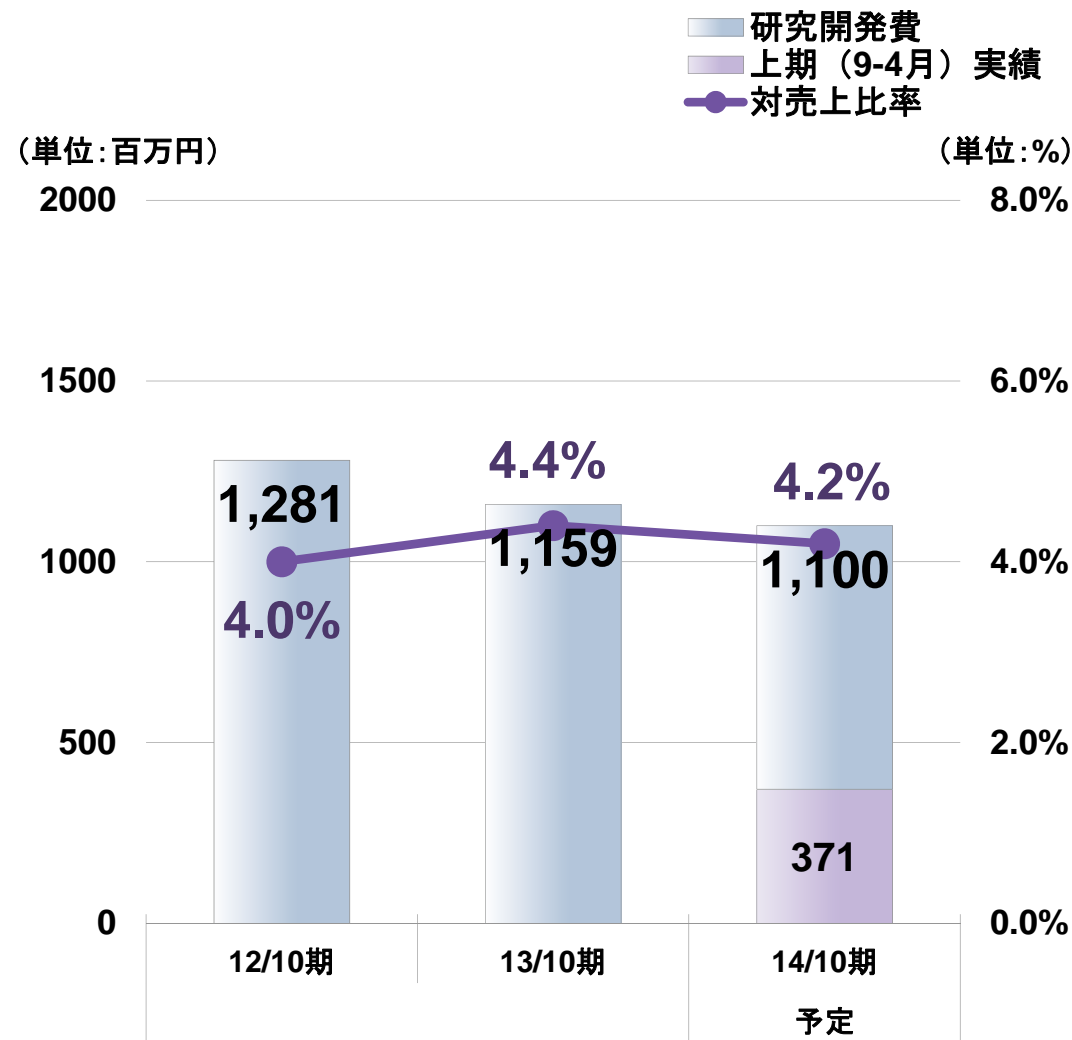
営業利益



設備投資、減価償却費



研究開発費



トピックス：基本戦略の進捗

<光事業>

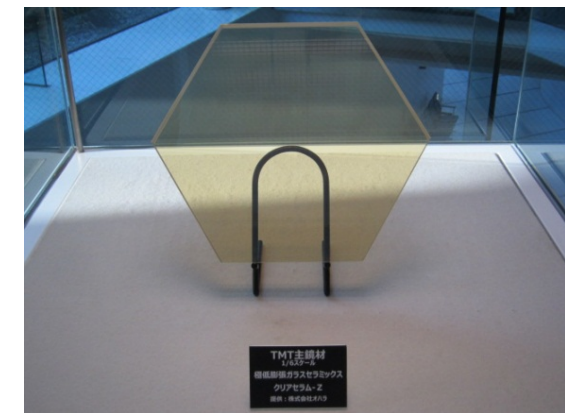
- ◆ 光学ガラス生産のグローバル化を目指し、国内外の生産バランスを再構築
- ◆ 今後増加が見込める 4K、8K向け高精細レンズ需要に対応
- ◆ コストパフォーマンスに優れた光学ガラス新製品を一挙5種リリース



(台湾の光学ガラス熔解拠点)

<エレクトロニクス事業>

- ◆ 極低膨張ガラスセラミックス熔解炉の増強工事に着手し、今後増加する宇宙・天文向け需要に対応



(相模原市立博物館に展示された
TMT主鏡材の1/6スケールモデル)

OHARA

【ご参考】セグメント利益遡及修正値

